



河川氾濫を想定した水防工法訓練



現地に設置された災害対策本部



汐見小から潟公民館へ2次避難する住民



避難勧告発令により汐見小へ避難

大雨の季節に備え 汐見地区で防災訓練

梅雨期を前に、土砂災害を想定した防災訓練が5月27日、汐見地区でありました。消防団や町の担当者、地元住民ら計約240人が参加。情報伝達訓練や水防工法訓練、避難経路等を確認しました。

訓練は、梅雨前線による集中豪雨で汐見地区に土石流が発生し、町が住民に避難勧告を発令したという想定で実施しました。

県と町、消防分遣所、阿久根警察署などの間で災害情報の伝達訓練を行い、汐見小学校に現地災害対策本部を設置。ポンプ車や広報車などが地区内のパトロールに出発しました。

その後、住民避難勧告が発令され、地区内の住民が同小学校へ素早く避難し、消防団や町職員らは住民を誘導したり、無事に避難したかどうか身元を確認したりしました。

同地区では、昨年7月の鹿児島県北部豪雨災害時に、集落内を流れる尾川内川の主流で土砂崩壊が発生しましたが、砂防ダムによってなんと

か土石流の発生を阻止することができました。

訓練で想定された災害の概要

九州から本州付近に伸びた梅雨前線の活動により、鹿児島地方気象台は、「出水・伊佐・川薩・始良では、5月27日宵のうちにかけて、局地的に雷を伴い1時間に60mm以上の非常に激しい雨の降るおそれがあり、降り始めからの雨量は多いところで250mmに達する見込み。土砂災害、河川の増水や氾濫、浸水害に嚴重に警戒してください。落雷、突風、高波に注意が必要」として出水・伊佐を対象に大雨・洪水警報を発表しました。

さらに、鹿児島県と鹿児島地方気象台は、大雨による土砂災害発生危険度が非常に高まったことから、「土砂災害警戒・浸水警戒」を発表しました。

① 発生要因 梅雨前線による集中豪雨

② 被災想定 汐見地区の土石流により人家10戸全壊、25戸半壊（人身被害なし）。